

令和4年度前期授業評価アンケート集計結果

1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（Excelで配布）し、電子データで回収。

3. 回答率等

- 1) 対象開講科目数 8科目（ただし各種オムニバス講義、極域科学特別研究・極域科学特別演習は除く）
- 2) 履修者数 4 名
- 3) 期待回答数 13 件
- 4) 回答数 10 件
- 5) 回答率 76.9% $(\text{回答数 (4)} / \text{期待回答数 (13)}) \times 100$

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

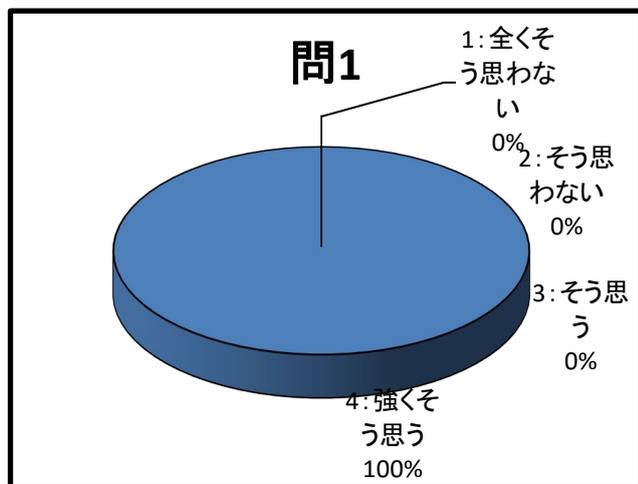
なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成した。

問1. 授業の内容はシラバスの内容と対応していましたか。

4 : 10件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

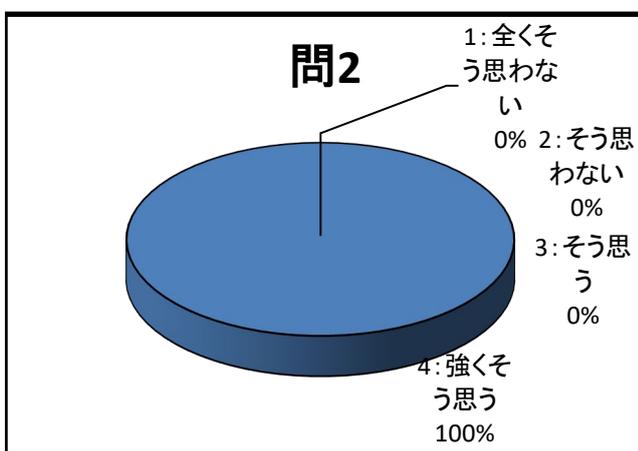


(コメント)
4が10割を占めており、シラバスの内容どおりに授業が行われていることがわかる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 10件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

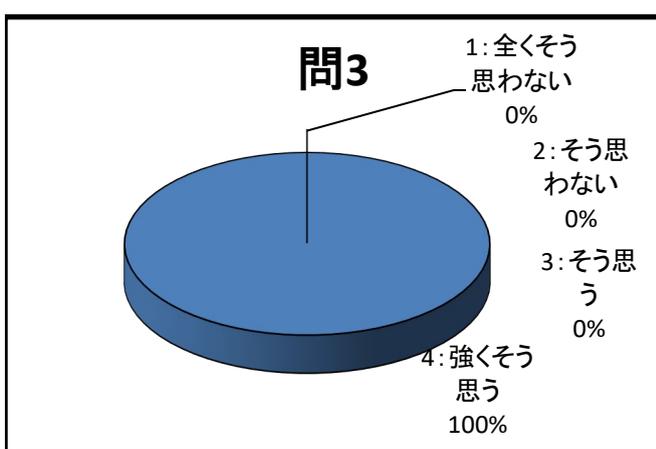


(コメント)
4が10割を占めており、学生が授業の難易度について適切と感じていることがわかる。

問3. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 10件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

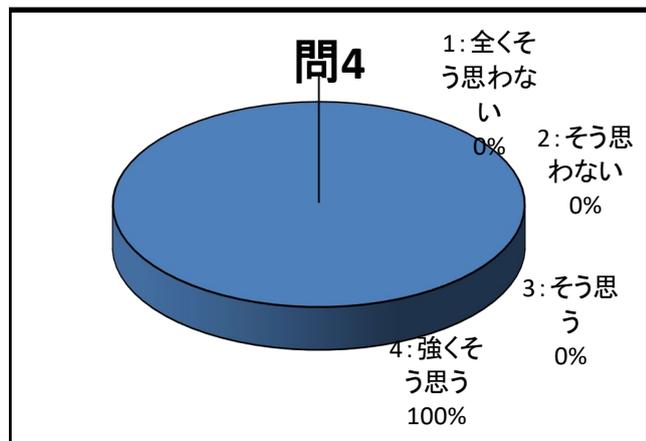


(コメント)
4が10割を占めており、学生が授業の進度について適切と感じていることがわかる。

問4. この授業を受けることで、理解が深まりましたか。

4 : 10件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

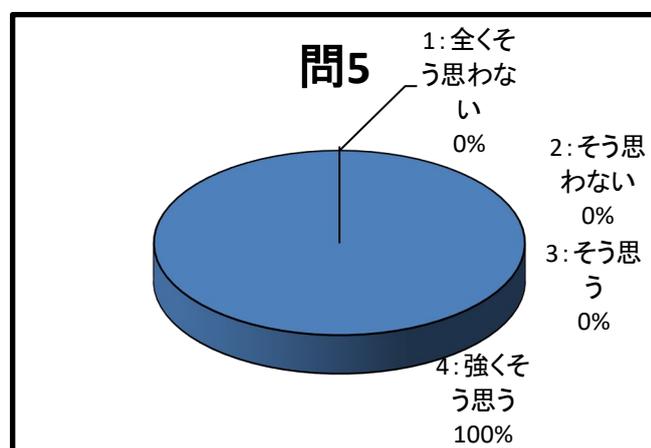


(コメント)
4が10割を占めており、学生が授業を受けることで理解が深まっていることがわかる。

問5. 授業により知的な刺激を受け、更に関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

4 : 10件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

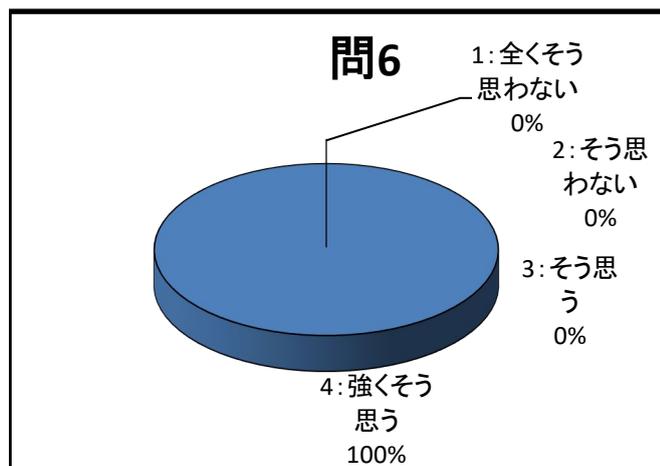


(コメント)
4が10割を占めており、学生が授業により知的な刺激を受けていることがわかる。

問6. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 10件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

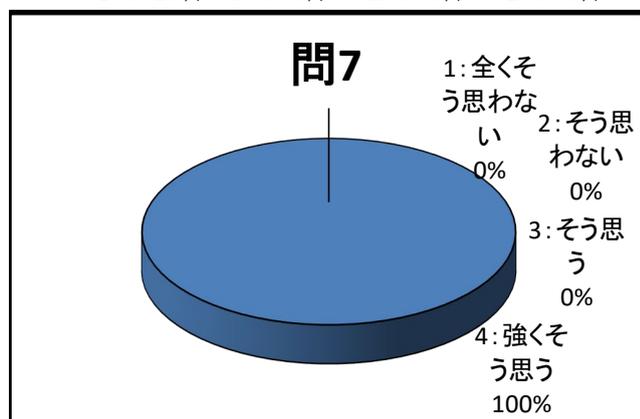
【平均4】



(コメント)
4が10割を占めており、学生が教員の熱意を感じていることがわかる。

問7. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 10件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件



【平均4】

(コメント)

4が10割を占めており、学生が授業に満足していることがわかる。

問8. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 : 10件

良かった点 :

- ・ 関連する広い研究テーマについてディスカッションができ
- ・ 分野の一般的な背景知識と、最新の研究動向についてバランスよく知ることができた。
- ・ 分野外の自分でもわかりやすかった。
講義中に沢山質問させてもらえたので理解が深まった。
- ・ 自分の興味や理解度に合わせて講義内容をフレキシブルに変えてもらえた。
- ・ しっかりと講義があったこと。
湖沼について知らないことを知れた。
- ・ 内容を受講学生に合わせてくれた
- ・ 太陽から地球まで広く知れたので、この分野の先生や学生がどんな世界を見ているか少し見えて面白かったです。
- ・ 理解することに重きを置き、スピードや内容をその都度調整していただき理解しやすかったです。
- ・ 内容が濃く、面白い世界に引き入れてもらえました。
- ・ 対話をしながら進めていただいて、理解しやすく面白かったです。

改善すべき点 :

- ・ 該当なし

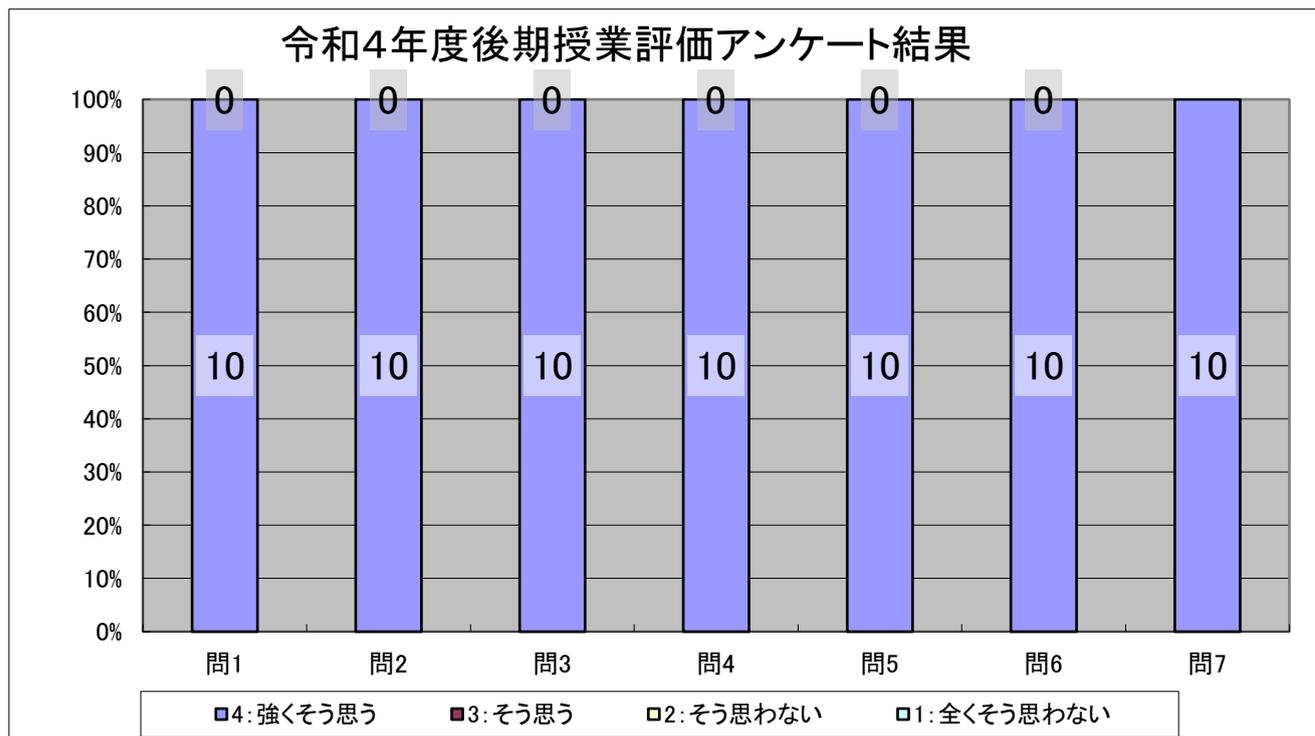
5. 令和4年度前期授業評価アンケートのまとめ

(1) 授業内容について（問1～問6）

全て4であり、学生は授業に満足していることがわかる。全体的に極めて良い結果となった。

(2) 総合評価（問7）

全て4であり、良い結果となった。



6. 今後の対応

授業担当教員から学生宛にアンケート実施を依頼している。

評価アンケートについては大学院系からも学生宛にリマインドをすることで回収率が上がるため、今後もこの方法で実施する。